

8.20土砂災害を絶対に忘れない！ 紙芝居『なっちゃんのランドセル』

貸出用上演セットも整いました 地域の防災活動にご活用下さい

私たちは「8.20土砂災害」を絶対に忘れない！
紙芝居「なっちゃんのランドセル」
完成に寄せて

私たちは、私たちが暮らすまちで、2014年「広島市8.20土砂災害」を経験しました。一人の母親として、守るべき小さい愛しい命がそこにあるのに、何も備えをしてないという焦り。もしものとき、我が子を抱えて自分ができることは何なのか、不安でいっぱいになりました。

その不安な気持ちを母親同士で話し合い、次に学び合える場をつくり、そして、学んだことを「ママの防災ぼっけ」冊子としてまとめました。私たちはその冊子を人から人へと手渡しすることを大切にしてきました。



時間の流れと共に、「ママの防災ぼっけ」だけでは伝えられないことがあり、あの出来事を「絶対に忘れない！」ために私たちができることはなんだろう・・・と、考えるようになってきました。

新たな仲間と共に、スタートした紙芝居づくり。

ここに紙芝居「なっちゃんのランドセル」があります。このお話の原案は、あの災害で愛しい二人の我が子さんが犠牲になったお母さんが書いてくださいました。最初に私たちは彼女が体験されたことを聞かせていただく機会をもちました。彼女が話してくださったことに感謝し、それぞれの思いを、言葉を探しながら出し合い、何を紙芝居で伝えたいのか、時間をかけて話し合っていました。

絵を描くことが大好きな3人のお母さんがイラストを担当しました。みんなの思いを表現することは本当に大変な作業でした。コロナ禍の中、子どもたちは休校・休園となり、みんなで集まり一緒に作業することが難しい時期もありました。自粛生活を体験する中で、人のつながりと命の大切さをあらためて感じるものがたくさんありました。

そんな様々な思いが詰まった紙芝居です。これから、たくさんの人たちに見て・考えていただけるように、知恵を出し合っていこうと思っています。



子育て・サークル応援グループMaMaぼっけ
紙芝居プロジェクトの仲間たち

2019年・夏
防災5年を機にプロジェクトスタート

作成経過のご紹介

民生委員さん、
防災リーダーさん...
多くの方のお話を伺い



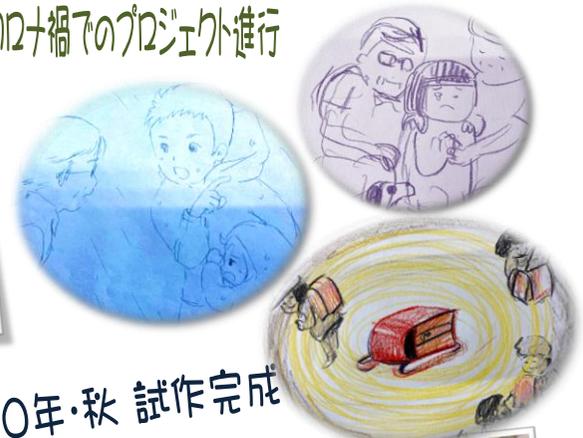
経験を出し合い、
テーマを論議し...



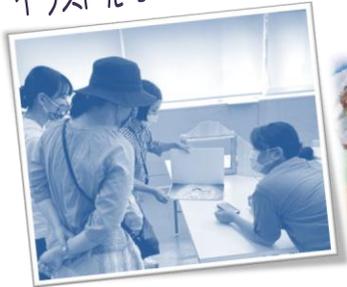
ストーリーリーが
決まり...



2020年・春 コロナ禍でのプロジェクト進行



2020年・夏
イラスト完了、ナレーション検討



2020年・秋 試作完成

